

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

10年ビジョン（2008年4月～2018年3月）

技術力と収益力において
世界一のモバイルスペースメーカーになり、
資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第47期中間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)
報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(当上期)における日本経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和政策の実施等により、好調な企業収益を背景に、雇用及び所得環境の改善などが見られました。

その一方で、中国の経済成長鈍化や、難民問題などのヨーロッパ情勢の不安により、今後の国際情勢は注視すべき状況が続いており、依然として国内経済の不透明感が高まっております。

ユニットハウス業界におきましては、前年度に引き続き、

建設工事が堅調に推移していることにより、需要の高い状態が継続しております。しかしながら、建設労働者の不足が顕在化しており、先行きは楽観視できない状況となっております。当社のユニットハウスは、工場内で製品の大部分を製造可能なことから、現在社会問題化している建設労働者不足の解消に貢献できると考えております。

このような情勢の中、当社グループといたしましては、新製品の開発、既存製品の改良を行うことで、新たな需要の創出に取り組んでおります。また、協力会社とのさらなる関係強化を図り、これまで以上にスムーズな施工体制の確立を目指しております。さらには、展示販売場やトランクルーム等の販売ネットワークの拡充についても、計画に沿って継続して取り組んでおります。

「必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供する」ことにより、当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、本建築市場、不動産市場にまでその優位性を十分に発揮できるものと確信しております。“建築の工業化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ(開拓の精神)を原点に、社会に貢献する会社を目指し、情熱をもって活動してまいります。

当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおきましては、民間の設備投資が前年に引き続き好調を維持しているため、稼働棟数は前年を上回る高水準となりました。また、エアコンシステムや電気配線、電気設備をユニットハウスと一体化した配電システムによって、ユニットハウスの付加価値を向上

させ、引き続き受注獲得に努めました。トランクルームにおいても、新たに28店舗出店するなど売上拡充を図りました。

ユニットハウスの販売につきましては、新規展示場の出店により販売能力の向上に努めるとともに、店舗・一般事務所といった本建築事業に注力し、より一層の収益力の向上に努めてまいりました。

上記の結果、当上期の連結売上高は15,144百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

利益面においては、原材料価格の上昇等により、営業利益1,866百万円(前年同期比5.6%減)、経常利益1,862百万円(前年同期比4.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,059百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

当社は今後も、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓していくことで、業績の拡大及び企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成27年12月
代表取締役社長 **長妻貴嗣**